和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第３号
2019年5月7日

2018年度活動記録
SGH甲子園（1）

2019年３月23日（土）、関西学院大学にてSGH甲子園2019が開催されました。課題研究発表会３部門のうち、本校からは以下の２部門に代表者（グループ）が出場しています。

◆出場部門◆

「ラウンドテーブル型ディスカッション部門」（予選通過者のみ出場）

「研究成果ポスタープレゼンテーション部門」

1 ラウンドテーブル型ディスカッション部門参加報告

テーマ「日本が女性の社会進出を進めるにあたっての課題と解決策」

３年６組　藤瀧　碧

今回、様々な学校の生徒と話す機会を得たことで、いかに自分の考え方やスキルが甘いかをより強く感じ、日々の過ごし方を見直す必要性を学びました。

ディスカッションを通して、自分のスキルの低さをより痛感し、他校のレベルの高さを目の当たりにして驚きました。データの量やその活用方法、そして話を即座に理解してまとめる力が、圧倒的に不足していると感じました。ディスカッションが終わった後、参加した生徒同士でお互いの自己紹介などをしている中で、皆それぞれ将来のビジョンがはっきりしていることに大いに刺激を受けました。そこまではっきりと考えを深めていなかった私は、大学で学びたいことについて改めて振り返り、考え直す必要を感じました。同時に、日日の過ごし方についても皆のように、何事も常に自分の学びとしてとらえる心を持つのが大切だと学びました。

今回SGH甲子園に参加したことで、自分の力不足を感じ、悔しい気持ちも残りましたが、やはりこうした機会に参加することで、全国の高校生がそれぞれ様々な観点で研究や学習に取り組んでいることを知り、かなり視野が広がりました。

やはり、「学ぶ」というのは楽しいことだな、と感じました。

2 ラウンドテーブル型ディスカッション部門参観報告

参加を通して学んだことは、「他人の意見を受け入れる心」の大切さです。

様々な意見が出て、それを時間内にまとめなければならない場合、また、よりよい結論に結びつけたい場合、まずは、きちんと人の意見を受け入れることが大切だと学びました。そしてそれらをきちんと整理したうえで、他の意見や反対意見を言うことで、筋道立ったディスカッションができるのだと感じました。

（２年６組　今井佑奈）

初対面の人とディスカッションするのは難しいことだと思いますが、さすが代表ということもあって、スムーズに議論が進んでいました。その姿勢を、ぜひ参考にしたいと思いました。

また、先生方の講評も大変勉強になりました。今後自分がこのような機会をもった時に活かしたいと思います。（２年６組　北出裕誉）